

21. 回路方程式変換法 と s 回路法

21. Circuit Equation Transform Method and s Circuit Method

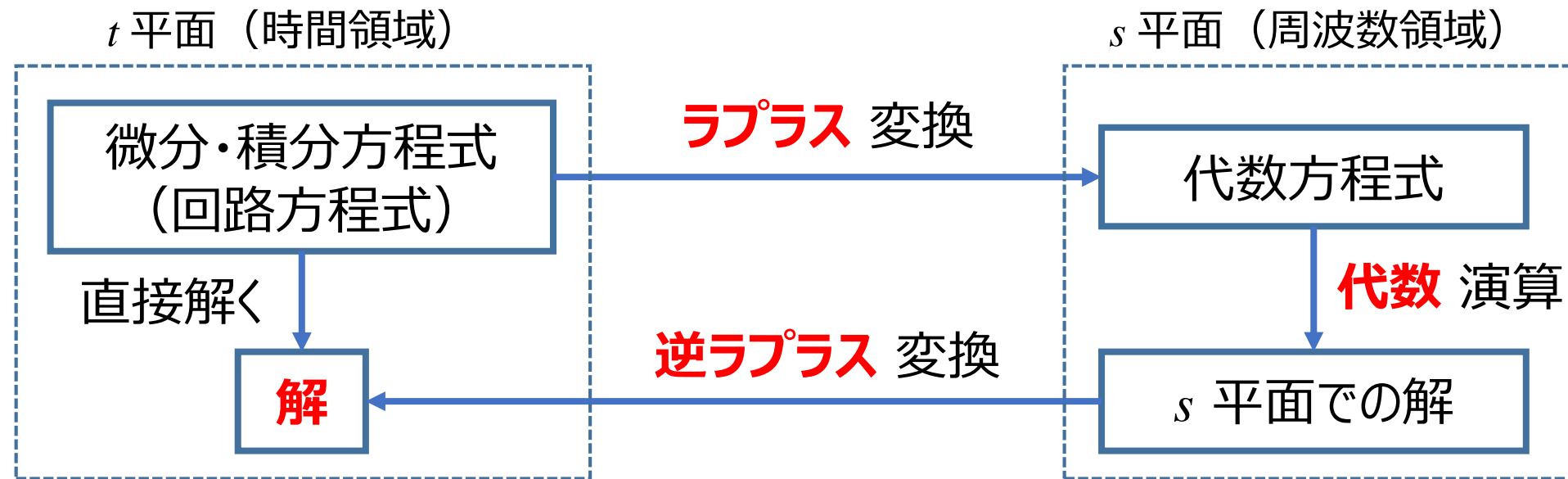
講義内容

1. 回路方程式変換法
2. s 回路法

回路方程式変換法

回路方程式をラプラス変換して解を求める方法

※ 初期条件は変換するときに考慮される

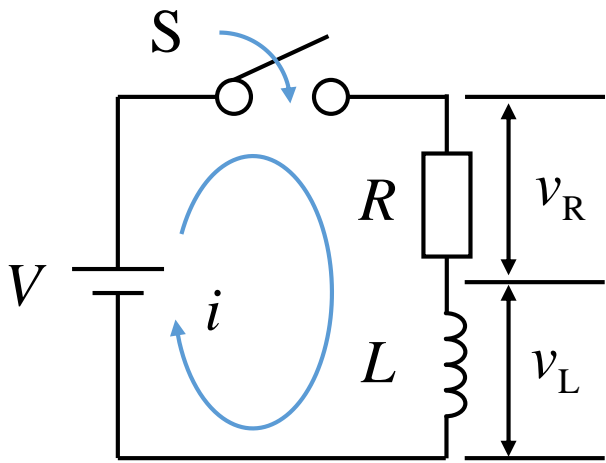


回路方程式変換法の手順

- (1) 回路方程式を導出
- (2) 回路方程式をラプラス変換 \Rightarrow 微分方程式が代数方程式へ
- (3) 代数演算により s 平面での解を求める (必要なら部分分数分解)
- (4) 逆ラプラス変換して t 平面での解を求める

解析例1

例：図のRL直列回路について，スイッチオン直後に流れる電流を求める



電流について回路方程式を導出すると $V = Ri(t) + L \frac{di(t)}{dt}$

初期値
(開放なので **0**)

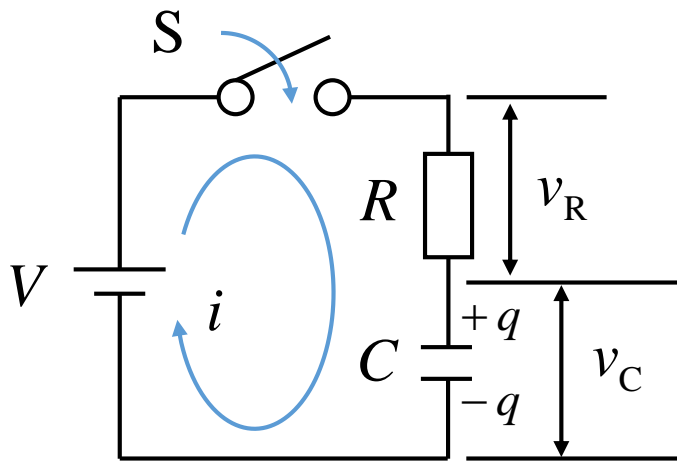
両辺をラプラス変換すると $\frac{V}{s} = RI(s) + LsI(s) - Li(0_-) = (R + Ls)I(s)$

$I(s)$ を求め，部分分数分解すると $I(s) = \frac{V}{s(R + Ls)} = \frac{V}{R} \left\{ \frac{1}{s \left(\frac{L}{R}s + 1 \right)} \right\} = \frac{V}{R} \left(\frac{1}{s} - \frac{1}{s + \frac{R}{L}} \right)$

逆ラプラス変換によって $i(t)$ を求めると， $i(t) = \frac{V}{R} (1 - e^{-\frac{R}{L}t})$

解析例2

例：図のRC直列回路について，スイッチオン直後に流れる電流を求める



電流について回路方程式を
導出すると

$$V = Ri(t) + \frac{1}{C} \int_0^t i(t) dt$$

初期電荷

両辺をラプラス変換すると

$$\frac{V}{s} = RI(s) + \frac{1}{Cs} I(s) + \frac{q(0_-)}{Cs}$$

$$I(s) \text{ を求めると, } \frac{V}{s} - \frac{q(0_-)}{Cs} = I(s) \left(R + \frac{1}{Cs} \right) \Rightarrow \frac{V - \frac{q(0_-)}{C}}{s} \cdot \frac{1}{\left(R + \frac{1}{Cs} \right)} = \frac{V - \frac{q(0_-)}{C}}{R} \cdot \frac{1}{s + \frac{1}{CR}}$$

$$\text{逆ラプラス変換によって } i(t) \text{ を求めると, } i(t) = \frac{V - \frac{q(0_-)}{C}}{R} e^{-\frac{1}{CR}t}$$

初期電荷が 0 の場合
 $q(0_-) = 0$ とすればよい

s 回路法

回路を s 回路 に置き換えて解を求める方法

t 平面
(時間領域)

回路

微分・積分方程式
(回路方程式)

直接解く

解

ラプラス変換

【 s 回路法】

ラプラス変換

【回路方程式変換法】

逆ラプラス変換

s 平面
(周波数領域)

s 回路

代数方程式

代数演算

s 平面での解

s 回路法の手順

- (1) 回路を (スイッチオン直後の) s 回路 に **変換** する
- (2) **直流回路** と見なし, キルヒホッフの法則等により回路を解く
- (3) **逆ラプラス変換** して **時間** 関数を求める

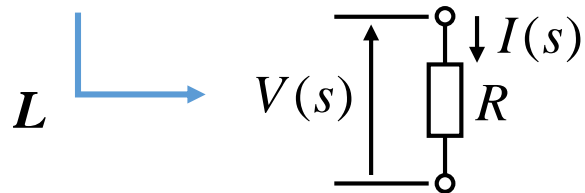
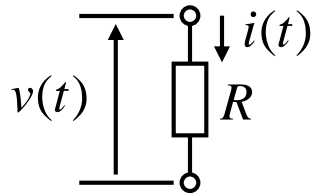
各回路素子の s 回路

抵抗 R

$$v(t) = Ri(t)$$

基本則①

$$L \rightarrow V(s) = RI(s)$$

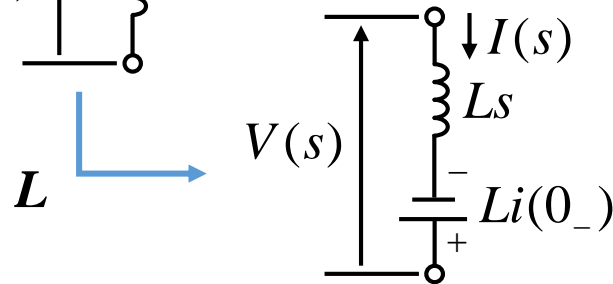
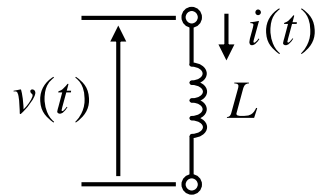


インダクタンス L

$$v(t) = L \frac{di(t)}{dt}$$

基本則⑥

$$L \rightarrow V(s) = LsI(s) - Li(0_-)$$



初期電流

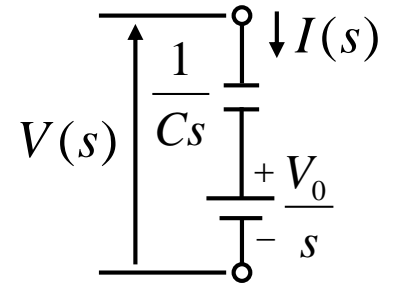
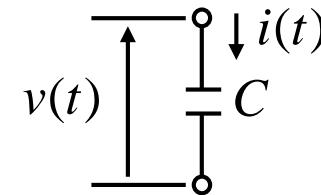
キャパシタンス C

$$v(t) = C \int_{0_-}^t i(t) dt + V_0$$

初期
電圧

$$L \rightarrow V(s) = \frac{I(s)}{Cs} + \frac{V_0}{s}$$

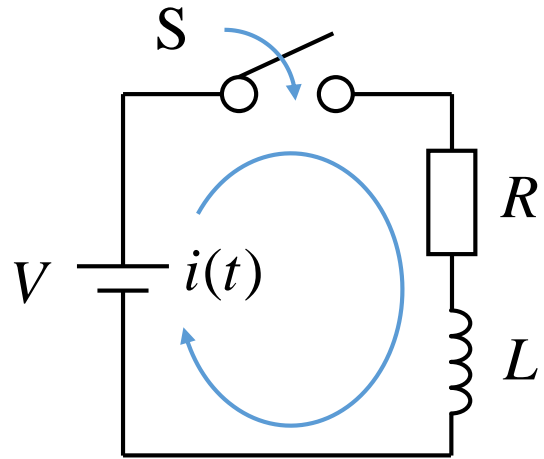
基本則⑦



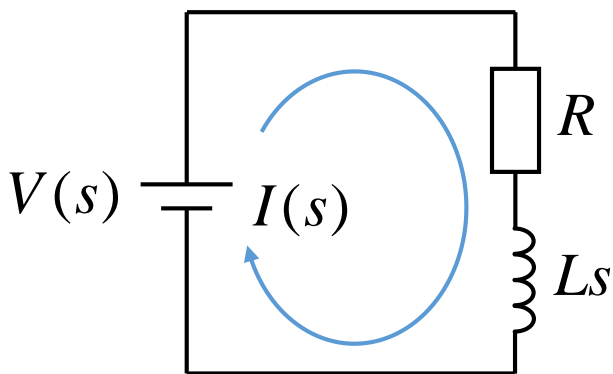
L, C : 自然に初期条件が含まれる (初期値の向きに注意)

s 回路法による解析例 (解析例 1)

例：図のRL直列回路について，スイッチオン直後に流れる電流を求める



s 回路に変換



初期電流は無いので，s 回路は下図のようになる
変換した s 回路から電流 $I(s)$ を求めると

$$I(s) = \frac{1}{R + Ls} V(s)$$

電圧 $V(s)$ はステップ電圧 $Vu(t)$ をラプラス変換したもののなので，

$$I(s) = \frac{1}{R + Ls} V(s) = \frac{1}{R + Ls} \frac{V}{s} = \frac{V}{s(R + Ls)} = \frac{V}{R} \left\{ \frac{1}{s \left(\frac{L}{R}s + 1 \right)} \right\} = \frac{V}{R} \left(\frac{1}{s} - \frac{1}{s + \frac{R}{L}} \right)$$

逆ラプラス変換すると，

$$i(t) = \frac{V}{R} (1 - e^{-\frac{R}{L}t})$$

グラフは

